

令和 6 年度 第 12 回理事会

日時：令和 7 年 4 月 22 日（火）：19：00～

場所：ZOOM（オンライン）

慶事： 0 件 弔事： 0 件

施設数：182 施設 会員数：896（施設会員 854/在宅会員 42）人 休会数：223 人（4 月 21 日現在）

参加者：理事：磯野、高村、小林、有泉、井村、山下、大西、平賀、鮎川、渡邊、鈴木、古屋、菊池、上田
部長：丸茂、丸茂

【審議事項】

1. 2025 年度第 1 回学術研修会事業開催について
2025 年度第 2 回学術研修会事業報告について：学術研修部
2. 田中まさし参議院議員との意見交換会のポイント付与について：渉外部
3. 令和 6 年度事業、令和 7 年度事業（案）、令和 7 年度予算（案）について：事務管理局

【報告事項】

1. 都道府県理学療法士会生涯学習担当者意見交換会：学術局
2. リハマップの印刷について：士会支部局

【事務管理局より】

- ・審議、報告書類の統一について、フォーマットにばらつきがみられております。理事会フォルダに原本を入れておきましたので、ご活用をお願いいたします。
- ・5 月 13 日（火）事務所にて年度末監査を実施予定
- ・6 月 17 日（火）大木記念ホールで総会を実施予定（所有が変わるので名前が変更になる予定）。

【磯野会長】

- ・新年度 1 年またよろしくお願いします。
- ・PT 協会と士会長の組織運営協議会がオンラインで開催（年 2 回開催）。秋の開催は参集も検討されている。会員の休会者が全体の 20%に迫っている。魅力を持って会員を続けられるようにしているが、休会者の運営にもお金がかかるのでそれも合わせてどのように対応していくか検討されている。現状は、継続的に休会申請がないと自動退会になるシステムとなっており、今後自動復会に変えていくか検討しているが、システムの変更を伴うので、再来年にな。そうなると退会者が出ることが予測される。休会者でも職場に戻って復会している方もいるため、休会の制度としては重要だと思う。
- ・選挙関係は 4 月 14 日に選挙対策本部が立ち上がり、齋藤会長、山本会長、内山協会長が副本部長となった。
- ・4 月 16 日に全国の士会長の私的な勉強会を行っている。お互いに情報を持ち寄って勉強会を開催している。
- ・会長選が行われ、過半数に達しなかったため、決選投票になっている。
- ・本日の審議は令和 7 年度の予算について、各副会長を通じて予算の見直しを依頼したが、出てきたところマイナス予算になっている。マイナス予算は組めないため、今一度検討をしてもらいたい。

【 審 議 】 資 料 1

提出者	小林 裕司	部局名	学術研修部
議 題	2025 年度第 1 回学術研修会事業開催について		
内 容 および 提出趣旨	第 1 回学術研修会 日程：2025 年 8 月 6 日(水)、20 日(水) 各日 19 時～20 時 30 分予定 会場：オンライン開催 講師：山田 実先生（筑波大学 人間系 教授） テーマ：健康寿命延伸のための介護予防における理学療法への取り組み カリキュラムコード：区分 13-153 介護予防における理学療法 受講費用：県内会員 1000 円、県外会員・非会員 2000 円、学生無料 （クレジット決済が導入できない場合は無料） 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	2025 年度第 1 回学術研修会はオンライン開催にて行う。講師に筑波大学の山田 実先生を招聘し「健康寿命延伸のための介護予防における理学療法への取り組み」というテーマでご講義をいただく。山梨県も高齢化率が 31.2%となり、健康寿命延伸は重要な課題であるとする。山田先生は老年学における大変ご高名の先生であり、研究室において Web 版集いの広場を開設し、高齢者の方と直にやり取りを行い介護予防・フレイル対策を実践されている。今回は健康寿命延伸のための介護予防に向けて、具体的にどのような関わり、取り組みが必要となるか、最新の知見を平日夜間 2 回に分けてオンライン開催しご教授いただく。登録理学療法士および認定・専門理学療法士の更新ポイント、点数は、6 日・20 日の両日参加した者に付与するものとする。なお、運営方法は開催規定を踏襲する。また、受講費用についてはクレジットカードでの決済が可能であれば、参加者より受講費用を徴収したい。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など	＜受講費用について＞ ・受講費用は、両日の参加で提案した金額を設定する。 ＜クレジットカードについて＞ ・3 団体の合同学会は、マイページからのクレジットカードで対応した。システム上の利用は可能と思われる。日程とカリキュラムコードを知らせるが、2 日間の管理が難しい。6 日を参加して費用を徴収し、20 日については無料にする設定にするか。 ・前回の土会の学会は 2 日間で登録可能だった。システムが変わっていなければ、処理ができたと思う。 ＜研修会に関する参加費の設定について＞ ・今後の研修は参加費等、参加者へ請求していただきたい（会長）。		
結果	・研修会の開催については承認 ・マイページから登録してクレジットカード決済ができるように対応していく。		
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ） B（ 会 員 ）		

【 審 議 】 資 料 2

提出者	小林 裕司	部局名	学術研修部
議 題	2025 年度第 2 回学術研修会事業報告について		
内 容 および 提出趣旨	第 2 回学術研修会 日程：2025 年 8 月 31 日(日) 10 時～16 時予定（休憩 1 時間を含む） 会場：健康科学大学 講師：松村 将司 先生 （杏林大学 保健学部 リハビリテーション学科 理学療法学専攻 講師） テーマ：頭頸部痛に対する徒手療法 カリキュラムコード：区分 7-89 徒手理学療法学 受講費用：県内会員 1000 円、県外・非会員 2000 円、学生無料 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	2025 年度第 2 回学術研修会は対面開催にて行う。講師に杏林大学の松村 将司先生を招聘し「頭頸部痛に対する理学療法」というテーマでご講義と実技を行っていただく。学術研修会後のアンケートにて「整形疾患」「脊柱」「徒手理学」に関連する研修会を希望される参加者の声も多く興味関心が高いことが伺える。松村先生は整形疾患全般における大変ご高名の先生であり、特に徒手理学療法において数多くの講習会で講師を務めていることや徒手療法に関する著書もご執筆されており、現在も「教育」「研究」「臨床」を実践されている。今回は頭頸部痛に対する理学療法に関する基本的な知識および実技を交えて対面開催しご教授いただく。なお、参加費用及び運営方法は開催規定を踏襲する。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など	<受講費用の設定について> ・非会員の受講費用の設定をどうしていくのか。、県外会員は年会費払っているので問題ないが、非会員は会費を払っていないので、基準を調査して検討してもらいたい。 ・対面になると、第 1 回と時間の違いや会場費などもかかるため、オンラインとの違いはどのように考えているのか。 →学術研修部でも過去に検討されている。時間などの妥当性を再度検討する。 ・費用については、県士会としての方向性や考え方で差別化するのか、対面の参加率を高めたため受講費も抑えることも視野に入れる必要がある。予算がないことも考えていけないといけなので引き続き議論は必要。 ・コロナ禍でオンラインとなり今までほとんど費用を取らなかった。県士会として昔あったような形を戻していく必要はある。オンラインと実際の実技指導は違うか、2 日間で 3 時間 1000 円、5 時間で 1000 から 2000 円に変わっていると考えているのはどうか。どこかで線引きを、例えば時間で考えて行ってもいいのでは。		
結果	・受講費用についての設定を、開催方法や時間などの基準を検討して、再度審議とする。		
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ）		

【 審 議 】 資 料 3

提出者	小林 泰彦	部局名	渉外部
議 題	田中まさし参議院議員との意見交換会のポイント付与について		
内 容 および 提出趣旨	【田中まさし議員との意見交換会】 日程：2025 年 5 月 28 日(水) 19 時～20 時 場所：オンライン (ZOOM) 講師：田中まさし参議院議員 (理学療法士) テーマ：田中まさし議員に聞いてみよう！ カリキュラムコード：承認された後確認 参加費：無料 提出資料 有 別紙 2 枚		
提出者の意見	本年 1 月に田中まさし議員が山梨県の医療機関・介護施設などを訪問した際には、時間の関係上、限られた方としかお会いできませんでした。また、その夜の学習会も限られた時間しか取れませんでした。今回はより多くの方と意見交換会をできるようにとオンライン開催といたしました。せっかくの機会ですので診療報酬や政治活動のことだけでなく、業務や育成など様々なことで意見交換していただければ幸いです。 上記の企画に対し更新ポイント付与の理事会審議をお願いいたします。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など	<ポイント付与について> ・ポイント付与については申請を出せば付与できることは渉外部に連絡済み。 ・連盟主催ではポイントはつけられないと思うので、合同開催や共催で研修会を開催しポイントを付けれるように進めていく。		
結果	・ポイント付与については共催など運営方法を検討してポイント申請する。		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員)		

【 審 議 】 資 料 4

提出者	山下浩樹	部局名	事務管理局
議 題	令和 6 年度事業、令和 7 年度事業（案）および予算（案）について		
内 容 および 提出趣旨	令和 6 年度事業につきましては、監事・会長・副会長・局長・部長・委員長から活動報告をご提出いただき、報告書をまとめました。 令和 7 年度の事業（案）および予算（案）につきましては、副会長の確認をいただいた各部局・委員会等から提出していただいた事業計画と予算をまとめ、事業（案）および予算（案）を作成いたしました。 提出資料 有 別紙 枚 資料番号等		
提出者の意見	令和 6 年度事業につきましては、ご確認いただき、ご承認をいただきたい。 令和 7 年度事業（案）および予算（案）について、各部局・委員会から出された予算案が、物価高騰もあり収入を大きく上回る状況となっており、各部局・委員会で見直しを行っていただきましたが、収支を合わせることができない状況となっている。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など	<令和 6 年度決算について> ・支出の特別事業等積立基金で 50 万円支出している。しかし、3 士会合同学術の支出が 0 円で決算資料と特別事業積立基金と合わないのを初めて認識した。50 周年記念の支出もされているが会計処理で合わないという事で、特別事業等積立金に関ブロへ拠出もされており、使い方に整理の必要がある。今回、予算を組んで足りないところが分かった。 <令和 7 年度予算について> ・現状のままの状態をだした。令和 7 年度は、繰越金や会費収入（会員減に伴い）が少なくなってくる。現状の予算では-500 万円となっている。事務局の機能強化を図るための増額の方向性は合っている。学術は、登録理療療法士になって続けること、学びの機会を提供できるこの 2 つの事業は重要だが、もう一度検討してもらいたい。学術は、関ブロと一緒にお願いしているので、金額が増えることは理解できる。ただ、このまま予算は組めないの、皆さんから意見をいただく必要がある。最終的には三役で予算を決めた中で、皆さんに戻して事業を組んでいただかないと予算が厳しい。 <特別会計など補填できる予算の有無について> ・特別事業等積立基金は関ブロの事業が 1 点、什器備品購入積立基金は事務所を構えた時に支払う予算としていた。什器備品購入積立基金は広い範囲で、例えば PC レンタルは事務局の予算と基金からの補填など。基金の目的からすぐに使えるとは言えない規則の確認が必要。 <令和 7 年度予算の決定について> ・副会長から担当理事とヒアリングをして 3 役会に持って行くのはどうか。 ・監査までに時間がないので急いてご協力いただきたい。 <令和 7 年度予算の提案> ・研修会の対面をオンラインに変更すれば、会場費など抑えられるので基本的な所を変更してみてもどうか。 ・コロナ禍になって会場費がかからなくなった。会場費、宿泊費が必要になった状況を考えて、今までは考えられる最大の組み立てで予算の検討を伝えていた。学術研修部での審議でも、オンラインが定着している。オンラインでも費用を払うのも定着してきているため、原案から修正してもいいのでは良いと思う。		

	・広報部の新聞掲載は 80 万円で、イベントがないと 150 万円くらい掲載費用が掛かる見込みで予算は通常料金で計上している。東京 3 紙は 10 万円くらい、理学療法イベント告知で山日の掲載費用は高いため、チラシの方が安価に抑えられる。 ・新聞掲載については、理事会として難しい意見で進めていく。 ・予算については会員に対してのサービスを残すことを大前提としたい。全体のスリム化を図るので、広報以外にもスリム化が必要。 ・学術局以外の部局も研修会の参加費が取れるように、他の部局と相談しながら検討していってもらいたい。 ・大目に予算を確保することは必要になるが、今後会員が減って基本的な収入が減っていく見込みがある中で、拡大していた事業を次につなげていくためにもこれから選定していく必要がある。スリム化することや研修会などの参加費を収入としていく方向性も方法の一つになっていく。研修会も、知識の部分ではオンラインで、技術的な部分是对面などけんとうしていってもらいたい。 ・予算の増減に関する事など総会等での指摘については、きちんと予算立てした説明ができるようにしていければ、単年度の予算計上でも問題ないと思われる。	
審議結果	審議（ 継続 ） 賛否（ ） ・副会長が担当部署にヒアリングを行い、予算を修正する。 ・ヒアリング後に 3 役会を開催し予算を決定する。 ・令和 6 年度の事業報告、令和 7 年度の事業案については各自確認し、指摘などあればトークにて報告する。	
	対応部局または理事氏名	
	処理期間	2025 年 5 月中旬
	次回再検討予定	三役会
公開度	A（ 部長 ・ 委員長 ・ 代議員 ）	

【 報 告 】 資 料 5

案件番号 -

提出者	鮎川将之	部局名	学術局
議 題	都道府県理学療法士会生涯学習担当者意見交換会		
内 容 および 提出趣旨	・ 令和 7 年 3 月 5 日(土)19 時 00 分～20 時 30 分 ・ Zoom 参加報告 提出資料 ☐ 無 ・ 有 別紙 1 資料番号等		
提出者の意見	・ どの県も、生涯学習事業の対面形式に課題をかかえている ・ 登録理学療法士前期研修のオフライン参加、および後期研修における症例発表会発表者の不足 提出資料 ☐ 無 ・ 有 資料番号等		
主な意見内容 など	<研修会の参加について> ・ 全国の士会長の会議でも、圏域の所で研修会を開いたがどこも集まらないと意見があった。		
結果	報告のとおり		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員)		

【 報 告 】 資 料 6

案件番号 2025- 土 -1

提出者	平賀 篤	部局名	士会支部局
議 題	リハマップの印刷について		
内 容 および 提出趣旨	士会支部の 2024 年度事業としてリハマップ作成を行い、三役の承認を得て 3 月中に印刷まで完了いたしました。 今後は 5 月頃を目途に各施設への発送と、電子版の HP 掲載を予定しております。 提出資料 無 別紙 1 枚 資料番号等		
提出者の意見	今回は周囲の施設を知るという目的のため、士会員がいない施設にも配布を予定しております。 今後冊子の配布は予算の関係上検討していく。 提出資料 無 別紙 枚 資料番号等		
主な意見内容 など	・ 特になし。		
審議結果	審議 (終了 ・ 継続 ・ 保留 ・ 付託) 賛否 (賛成 反対) 報告の通り。		
	対応部局または理事氏名		
	処理期間 平成 年 月 日 頃 次回再検討予定 第 回 理事会 ・ 三役会 ・ 部局会議		
公開度	A (部長 ・ 委員長 ・ 代議員) B (会 員) C (一 般)		